

3 心肺停止

【外傷・出血など原因がはっきりと分かる場合】

心臓マッサージを行う。心臓マッサージをきちんと行えば、人工呼吸は必要ない。それまでの状態に対処しており、10分程度のマッサージで蘇生しなければ、他の重症者への対応にシフトする。

【原因が分からず、突然、心肺停止になった場合】

大災害時には危険から走って逃げたり、非常に強いストレスを受けたり、家財の喪失からショックを受けたりして、心臓にも過大な負荷がかかる。

原因になりそうなこと：急性心不全・心筋梗塞・不整脈・肺塞栓など。

※急に心臓が止まったときには、原因が不明のことが多い。

4 意識障害

意識レベルのチェックで、JCS10以上は要注意。開眼しないJCS100以上は重症と考える。本来なら、救急搬送し、脳の画像診断後、手術や集中治療が必要な状態。

- **麻痺や失語がある**→外傷性頭蓋内出血・脳挫傷・脳卒中の疑い。
- **突然意識を消失した**→けいれん発作（既往あり）、くも膜下出血、重症の脳卒中（大量の脳出血・脳塞栓など）。

- **重い呼吸障害もある**→脳幹の直接障害か、出血や脳浮腫による頭蓋内圧の亢進が高度に、全身状態の悪化。
- **意識障害が改善した場合**→けいれん発作・脳塞栓の再開通・中等度のくも膜下出血、脳しんとうなどを考えるが、経過観察が必要。

5 傷・骨折や脱臼などの外傷

避難所なので応急処置しかできず、材料も限られている。

- **創**：異物を洗浄・除去し、可能なら消毒し、被覆する。被覆は、ガーゼや絆創膏が理想だが、清潔なハンカチや布でも十分。消毒も清潔な水での洗浄で十分対応できる。
- **骨折**：その骨を挟む2つの関節を越えて固定する。添え木は、棒でも傘でも角材でも、新聞紙を筒状にしたものでも、固定さえされていればOK。
- **添え木の固定**：包帯が理想だが、布でもガムテープでもOK。
- **肩の脱臼**：三角巾で腕を吊る。スーパーのレジ袋も利用できる。

心得 Do! すべし

現場にあるものは、何でも利用する。